

実施日 : 平成27年12月2日(水)  
午後17:30~20:30

会場 : 本校機械系工場1階CNC教室

連携大学 : 大阪府立大学 小型宇宙機システム研究センター  
(ホームページ : <http://www.sssrc.aero.osakafu-u.ac.jp/>)  
(FB : <https://ja-jp.facebook.com/opussrc>)

参加生徒 : 青木 竜也、上田 恭輔、黒川 直希、河本 和樹、瀧本 晟英、三角 勇人  
矢野 敬大、三村 瞭太

目的 : 前回の連携授業で学習したブレイン・ストーミングとペイオフ・マトリクスを利用して、1年生が主担となって研究開発しているCanSat(缶サット)のミッションの内容、サクセス・クライテリア(ミニマム、フル、エクストラ)について、大学生から理解度の確認と指導、助言を行って頂き、生徒たちに論理的かつ科学的な思考方法を学ぶ。

実施内容 : ①CEESロケットの講義  
②CEESロケットとCanSatとのインターフェースの講義  
③CanSatのミッション、設計についての検証  
④小型人工衛星『OPUSAT』の講義

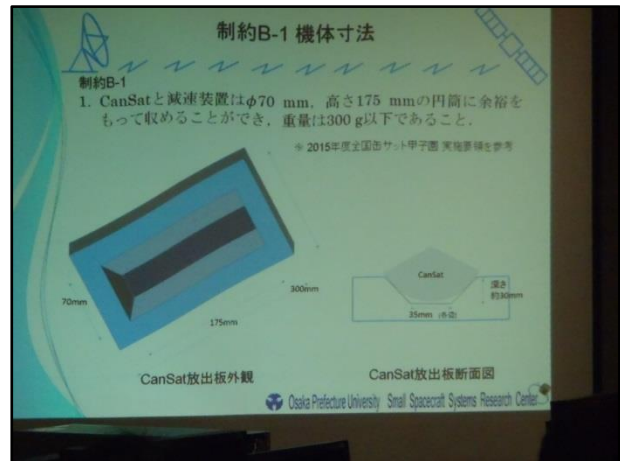
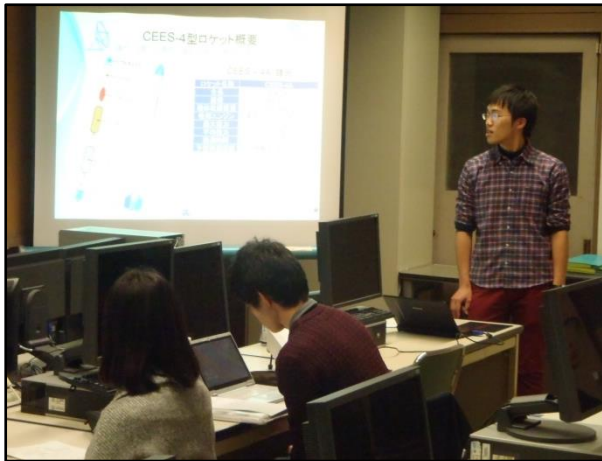
### 授業の様子①

連携授業の流れについて



## 授業の様子②

### CEESロケットとCanSatとのインターフェースの講義



## 授業の様子③

### 本校のCanSatのミッション、設計についての検証



## 授業の様子④

### 小型人工衛星『OPUSAT』の講義



## 授業の様子⑤

最後に全員で記念撮影を行いました。



授業の後半では、大阪府立大学の学生の皆さんが研究開発したローバー・サット（着地後、目的地まで移動）を拝見させていただき、クラブの生徒たちには共感と驚き、興味、関心を引き立ててくれました。

そして、1年生たちが現在開発中のC a n S a tは平成28年3月13日（日）に第4回加太宇宙イベントにおいて、大阪府立大学の液体ロケット（C E E S - 4 B）に搭載し、高度200[m]以上へ打ち上げ、投下実験を実施する予定です。

大会へ向けた研究開発の様子など次回報告していきたいと思いますので、ご声援よろしく申し上げます。

## 謝辞

今回、第2回高大連携授業に対し、大阪立大学の小型宇宙機システム研究センターの真鍋教授様、ならびに、同センターで研究活動している大学生、大学院生の皆様には貴重な時間を割いて、且つ、遠いところまで足を運んでご指導していただいたこと、誠に有難うございました。

3月13日（日）の共同打ち上げ実験が成功できるように精一杯努力して取り組んでいきますので、ご指導、ご鞭撻よろしくお願ひいたします。